

天橋立を世界遺産に！

美しいふるさとを子ども達に残そう

天橋立を世界遺産にする会



世界遺産暫定リスト掲載に係る審査結果発表

～天橋立 今回は見送り～

9月末、国内の世界遺産暫定リストの掲載に係る審査結果が発表され、私たちが登録を目指してきた「天橋立」は、今回は残念ながら見送りとなりました。

しかし、天橋立については、提案書の基本的主題を基に準備を進めるべきもの（カテゴリーI a）として、高い評価をいただきました。

私たちとしては、非常に残念ではあるものの、世界遺産登録に向けた再チャレンジの機会をいただいたものと捉え、今後とも、天橋立の魅力の人々に伝え守り育てようとの決意を新たに、その魅力を伝える活動に取組みたいと考えています。

今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願いいたします。

今井会長 コメント

あと一歩のところまで暫定リストを逃したことは非常に残念ですが、次へのチャレンジカードをいただいたと認識しています。

会のスタートは遅かったものの、「まなび舎塾」「シンポジウム」「HAND in HAND 天橋立」など、様々な活動をしてきたことも、大きく評価していただいたことと受けとめています。

今後とも、天橋立を含むこの地域を子孫に残していくため、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

暫定リスト記載文化資産	準備の出来たものからユネスコに推薦するもの	5件…百舌鳥・古市古墳群など
暫定リスト 記載候補 文化資産	カテゴリーI a	提案書の基本的主題を基に準備を進めるべきもの 5件…天橋立・阿蘇など
	カテゴリーI b	主題に関する調査研究を行い、一定の方向性が見えた段階で作業を進めるべきもの 8件…松本城・善光寺と門前町など
	カテゴリーII	主題の再整理、構成資産の組み替え、更なる比較研究等を要するもの 14件…松島、足尾銅山など

〇認められた価値

- ・日本を代表する**特徴的な海洋景観**であり、風景美を自らの心や芸術に投影し、眺め見ることを憧憬してきた日本の美意識の形成過程を物語る資産である。
- ・日本を代表する「**白砂青松**」は、様々な芸術や庭園にも影響を与えるなど、日本人の文化性・精神性を理解する上で、重要な風致景観として価値が高い。

〇課題等

- ・世界的・国際的な観点から、比類のない「白砂青松」の景勝地の希少例又は典型例として、天橋立が顕著な普遍的価値を持つ可能性について確実に証明。
(国内外（特に中国・韓国）の同種資産との比較研究)
- ・松が叢生する砂嘴を天に繋がる橋と見立てる日本人の独特の伝統や精神性の原点と位置付けることについての十分な説明。
- ・天橋立の構成資産及び周辺関連諸要素の適切な保護。 など

〇今後の方向

- ・今後、京都府や関係市町により、課題に対する調査・研究が進められます。
- ・調査・研究の進捗状況に応じ、文化庁において暫定リストの追加登録が検討されます。



**今後も天橋立の価値を伝え、未来へ継承する活動を続けます。
みなさまの応援よろしくお祈いします。**



天橋立海岸の漂着ごみの清掃に参加しました

10月22日、「天橋立を守る会」の呼び掛けにより、「天橋立公園継承準備委員会」が開催した天橋立海岸の漂着ごみの清掃に参加しました。

地元住民、団体、行政など約90人が一緒となって、海岸に漂着している海藻類やヨシ、その他のごみ及び海中の収集できる範囲の海藻類など、約5.67トンのごみを回収しました。

これからも気持ち良く訪れてもらえる天橋立にしましょう。



12月14日（日）9時～
クリーンはしだて1人1坪大作戦
第2回迎春天橋立一斉清掃
皆様の参加をお待ちしています。
 場所：天橋立（受付：小天橋・船越）
 主催：クリーンはしだて1人1坪大作戦実行委員会
 事務局：天橋立を守る会
 Tel.0772-22-0670（天橋立観光協会内）

天橋立を世界遺産にする会 今までの取組

天橋立を世界遺産にする会の今までの取組を振り返ります。

○シンポジウム・勉強会の開催

- ・天橋立まなび舎塾（H19.12～H20.9 計7回 延約610名の参加 ＊天橋立公園継承準備委員会との共催）
- ・天橋立世界遺産シンポジウム（H20.3.15 約250名の参加 ＊天橋立公園継承準備委員会との共催）
- ・世界文化遺産登録市民シンポジウム（H20.4.22 約220名の参加 ＊天橋立公園継承準備委員会との共催）
- ・世界遺産講演会（H20.7.11 約120名の参加 ＊丹後地区広域市町村圏事務組合との共催）
- ・文化芸術の源泉としての天橋立（H20.9.13 約120名の参加 ＊天橋立公園継承準備委員会との共催）

各種シンポジウムや勉強会を通じて、様々な側面から天橋立の価値を学びました。

雪舟の天橋立図をはじめとする芸術作品を産み出し、能「丹後物狂」の舞台にもなった文化芸術の源泉としての天橋立、阿蘇海からの流れによって産み出された砂州と、人々の営みの中で守り継がれてきた松林など、天橋立の色々な顔を見つめてきました。



参加いただいた多くの方から「地元に住んでいるのに天橋立のことをまだまだ知らなかった」「天橋立の素晴らしさを再認識し、誇りに思う」「天橋立を今後も残していくために活動を続けたい」などの声をいただきました。

○世界遺産登録推進運動「HAND in HAND 天橋立」の開催

（H20.6.21 約2,250名の参加 ＊（社）宮津青年会議所・天橋立公園継承準備委員会との共催）

子どもから高齢者まで、たくさんの方が天橋立に集まり、天橋立を未来へ継承するという思いをひとつにしました。

また、天橋立を未来へ継承することを誓う「天橋立宣言」や、平成16年の台風23号で倒れた命名松の二世松の植樹なども実施し、京都府知事から応援メッセージもいただきました。



◆天橋立宣言

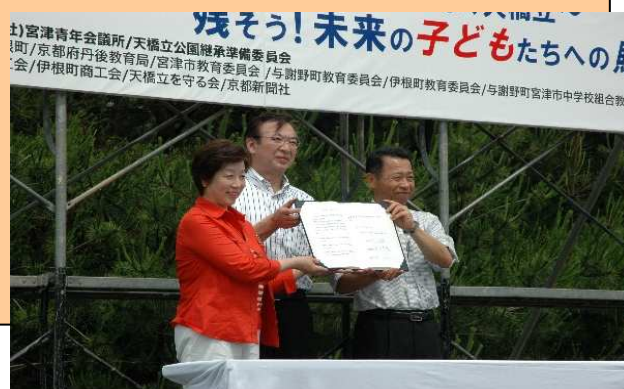
天橋立は、私たちの祖先が誇りをもって守り受け継いできたふるさとの財産です。
青く広がる水面に映える永久の松の深い緑
なだらかに優美な曲線を描きながら天へと続く白い砂浜
私たちは、この地球のかけがえのない宝物・天橋立を大切に思い、子どもたちに引き継いでいくため、次のことを誓います。

- 一 私たちは、天橋立が持つ多様な価値を学び、理解を深めます。
- 一 私たちは、天橋立の美しい姿を大切に守り、ふるさとを愛する心を育みます。
- 一 私たちは、天橋立を守ってきた人々に感謝し、受け継いでいく次の世代を大切に育てます。

天橋立を未来に遺すために手と手を結んで、ここに宣言します。

平成二十年六月二十一日

HAND in HAND 天橋立参加者一同
宮津市長 井上 正嗣
伊根町長 吉本 秀樹
与謝野町長 太田 貴美



○各種PR事業等の実施

- ・小中学校や駅などに「天橋立を世界遺産に！ 美しいふるさとを子ども達に残そう」の言葉の入った懸垂幕（横断幕）を掲出しました。
- ・世界遺産にする会のロゴマークの普及のため、車両ステッカー・名刺用シールの作成・配布を行いました。また、このロゴマークは、各イベントのポスターなどにもお使いいただいています。
- ・世界遺産登録推進のための動画（DVD）を作成し、各イベントや講習会等で上映しました。
- ・その他、ホームページによる情報発信、文化庁への要望活動、クリーンはしだて1人1坪大作戦への参画などを行ってきました。

天橋立を世界遺産にする会では、139の個人会員と55の団体会員（平成20年11月現在）により、天橋立の魅力を世界に情報発信するため、様々な取組を進めてきました。

今後も、より一層、天橋立の魅力を掘り下げ、伝え、未来へ継承する取組を進めてまいります。応援をよろしくお願いいたします。